

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- (1) 本競技場での練習は審判員の指示に従うこと。
- (2) 練習は指定された練習場（補助競技場）を使用すること。
- (3) 事故防止のため、周囲の状況に注意を払いながら練習すること。

3. 招集について

- (1) 招集所は、**本競技場正面入口内**に設ける。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がアスリートビブス等の確認を受けること。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は40分前とする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとして処理する。
- (4) リレーに出場するチームは、所定のリレーオーダー用紙に記入の上、招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出する。
- (5) 他の種目に出場している場合は、代理人をたてる。

4. アスリートビブスについて

- (1) すべての競技者は、ユニフォームの胸部と背部に所定のアスリートビブスを確実につけること。
ただし、跳躍競技の競技者については、胸部または背部のいずれか一方でもよい。

5. 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順による。
- (2) 不正スタートは1回で失格とする。但し、スターターの号砲以前の動きは注意のみとする。
- (3) フィールド競技のバーの上げ方については下記の通りとする（状況により変更することがある）。
・男子 走高跳（練習 1m50）競技開始の高さ 1m50 以降 5cm 刻み、175cm 以降 3cm 刻み
- (4) 三段跳びの踏切版は、砂場まで男子 1.1mとする。
- (5) 競技用具は主催者で用意したものを使用する。
- (6) 男子砲丸投は 6.0kg、同円盤投 1.75kg で行う。
- (7) フィールド競技のオープン参加競技者の試技は3回までとする。

6. その他

- (1) 競技中に発生した事故などについては応急措置を主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
医務室はメインスタンド下医務室内に設置する。
- (2) 点呼を受けた後は、競技場内に携帯電話や電子機器・通信機器の持ち込みは禁止とする。
- (3) 写真・ビデオなどの撮影については、各校の学生および監督・コーチと分かる服装で行う。
- (4) チーム・個人で出されたゴミは、すべて各自の責任で持ち帰ること。